

DSLR 用 プロンプターキット

TP-500-BRC



取扱説明書

株式会社エム・アンド・アイ ネットワーク

目次

<u>サポート窓口</u>	1
<u>内容物</u>	2
<u>HC-500 専用キャリングケース(付属品)</u>	3
<u>概要 / 特長 / 完成例</u>	4
<u>組立方法</u>	5
<u>カメラの露出と 60/40 ガラス</u>	9
<u>アプリケーションソフトウェアをダウンロードする(App StoreSM・Google Play Store)</u>	10
<u>アプリケーションソフト dv Prompter の設定</u>	11
ディスプレイ設定 (Display Settings)	11
プロンプター設定 (Promptings Settings)	11
スクロール開始時間設定 (Start Settings)	12
リモコン設定 (Remote Settings)	13
ビルドバージョン	12
<u>タブレットの設定</u>	12
<u>原稿を入力する</u>	12
<u>リモコンの操作方法</u>	13
『WR-450』 Bluetooth TM ワイヤレス・ワイヤード兼用リモコンを使用する	13
『WR-450』 ワイヤードモード(有線)で使用する	14
『WR-450』 ワイヤレスモード(Bluetooth TM)で使用する — タブレットとのペアリング	14
補足 『WR-150』 ワイヤード専用リモコンを使用(TP-500-WRC)で使用する	14
<u>60/40 ガラスを清掃する</u>	15
<u>仕様</u>	16

サポート窓口

株式会社エム・アンド・アイ ネットワーク DataVideoサポート係

〒104-0033

東京都中央区新川2-1-7

TEL: 03-3552-7241 FAX: 03-3552-7242 MAIL: mail@min.co.jp

URL: <http://www.datavideo.jp/>

内容物

製品には下記の部品が含まれます。いずれかの部品が同梱されていない場合は、取扱店まですぐにご連絡下さい。

※ 組立方法については(P5～)で下記表を参照してください。



アイテム番号	商品	数量
A	カメラ固定治具(詳細は下図参照)	1
B	カーボンロッド(長) (φ15mm、長さ 230mm)	2
C	フードフレーム(マジックテープ付き)	1
D	ボルト付きプレート(アイテム B・C・E 固定用)	1
E	カーボンロッド(短) (φ15mm、長さ 150mm)	2
F	タブレットホルダー取付プレート	1
G	レンズカバーフード(留めひも、マジックテープ付き)	1
H	タブレットホルダー	1
I	折りたたみ式プロンプターフード(マジックテープ付き)	1
J	60/40 ガラス	1
K	マイクロファイバーポーチ(未使用時 60/40 ガラス梱包用)	1
L	プラスチックカード(ガラス取り外し用)	1
M	固定ネジ(アイテム F・H 用)	1
-	専用キャリングケース(HC-500)	1
-	六角レンチ	1
-	取扱説明書(本書)	1
-	専用リモコン	1

アイテム A 詳細



パーツ I



パーツ II
(ネジ・ワッシャー各2個付き)



パーツ III
(ネジ・ワッシャー付き)



パーツ IV

TP-500 キットのタブレット用のリモコンは下記の物が同梱されています。

『WR-450』Bluetooth™ワイヤレス・ワイヤード兼用リモコン(iPad®, Android™タブレット共用)

充電用 USB ケーブル、ワイヤード用ケーブル 3m、首掛け用ストラップ

HC-500 専用キャリングケース(付属品)

TP-500 のカートンに同封されている緩衝材を、直接キャリングケースに装着することが出来ます。



HC-500 の中にある緩衝材は取り外しが出来る為、TP-500 に限らず様々な機器のケースとして使用することが可能です。

特長

- ロック付きの為、ケースが容易に開くことはありません。
- 耐衝撃性に優れたヒンジを使用することにより、単体で直立に置くことが可能です。
- 持ち手が中心にあることで、持ちやすさ、丈夫さに優れています。
- 耐衝撃、耐振動、防塵、防錆に優れています。
- 低温環境で使用可能(-25℃まで)
- 湿気を防ぐ密封性
- 圧力放出弁付き
- 積み重ね可能

仕様

- 外形寸法：330mm(幅)×275mm(高さ)×120mm(奥行)
- 内径寸法：295mm(幅)×215mm(高さ)×75mm(奥行)
- 蓋内径寸法：295 mm(幅)×215mm(高さ)×20mm(奥行)
- ケースのみの重量：約 1.68kg
- ケースとキットを含む総重量：約 3.06kg

概要

TP-500 モバイルプロンプターキットは iPad®(別売)、Android™タブレット(別売)を安価で有効なプロンプターに変えることができます。

屋外、スタジオのどちらでも利用できます。準備した原稿やキューシートをメールやテキストデータからアプリケーションソフトウェア(dv prompter)に読み込み、あらかじめ設定した速度でスクロールさせることができます。また、被写体の表示するタイミングを付属のリモコンで制御することにより、より自然に話すことができます。読みやすいフォントや文字色、フォントサイズが数種類用意されているので、カメラから離れていても快適に読むことができます。

特長

- 簡素なソフトウェアと付属のリモコンにより、低予算でプロの仕事を実現できます。
- 特殊な 60/40 ガラスを採用することにより、司会者はカメラを見ながら原稿を読むことができます。
- プロンプター取付金具は、一般的な三脚の雲台であれば、どんなものにも取付け可能です。
- カメラの前にタブレットを据付けることで、原稿を表示させることができます。
- 多様なカメラに適応する様に、カメラレンズカバーフードの留めひもは調整可能です。
- 特殊な道具は必要なく、簡単に組立てることが可能です。
- 調整可能なタブレットホルダーはタブレットを簡単に据付けることができます。
- 付属のリモコンを操作で、一人で撮影することが可能です。

完成例



組立方法（パーツの詳細はページ 2 を参照してください）

（カメラ固定治具 アイテム A）



パーツⅠ



パーツⅡ

【ステップ 1】

パーツⅠの背面（左図向かって奥より）にパーツⅡの溝（ネジ穴側）を合わせ、2本のネジで固定します。パーツⅡの高さは任意で調節します。



パーツⅢ

【ステップ 2】

ステップ1で組み立てた治具の上端に（左図向かって手前より）パーツⅢの溝（ネジ穴側）を合わせ、ネジで固定します。パーツⅢの位置が中央になるように調節します。



クイックリリース
プレート（例）

【ステップ 3】

ステップ2で組み立てた治具にお手持ちの三脚のクイックリリースプレートを取り付けて、カメラ固定ブロックを完成させます。



【ステップ 4】

ステップ3で組み立てたカメラ固定ブロック（パーツⅣ以外）をお手持ちの三脚に装着します。



次にお手持ちの DSLR カメラの下にパーツⅣ（アイテム A）を取り付けます。



【ステップ 5】

三脚に付けたカメラ固定ブロックの調節ネジ(左図内下側)を途中まで緩め、パーツIVを付けたカメラを装着します。

※調節ネジのつまみを押し込むことで、パーツIVの着脱(スライド)が出来ます。



【ステップ 6】

カメラを適切な位置に合わせ、調節ネジを締めます。

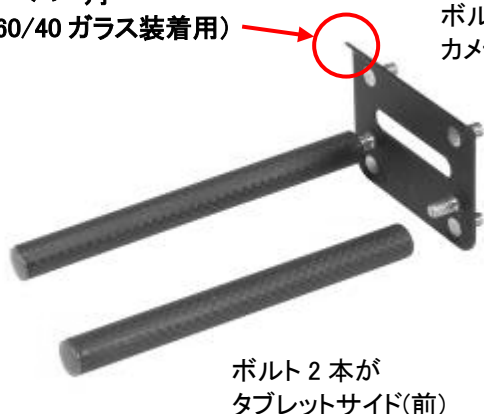


【ステップ 7】

付属するマジックテープをフードフレーム(アイテム C)に貼り付けます。あらかじめテープの白紙をはがしてください。

※フレームの左右内側には太いテープを、上下の内側には細いテープを貼り付けます。尚、貼り付けは1度のみです。

テーパー角
(60/40 ガラス装着用)



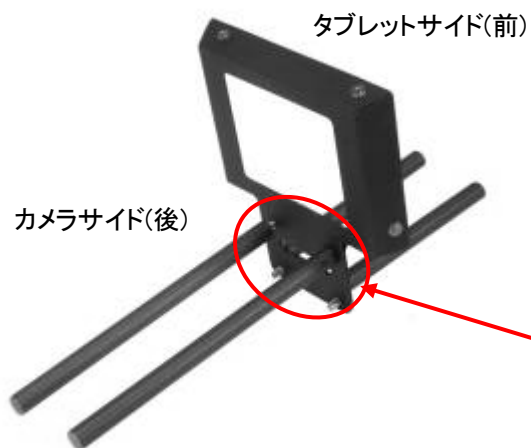
ボルト 4 本が
カメラサイド(後)

ボルト 2 本が
タブレットサイド(前)

【ステップ 8】

ボルト付きプレート(以下 アイテム D)の前側(ボルトが2本ある面)のボルトに、カーボンロッド(短・アイテム E)のネジ穴を合わせ、締めつけます。

アイテム D にテーパーが付いている方向が上側になります。後側はボルトが4本になります。



【ステップ 9】

アイテム D の後側のボルト4か所と、フードフレームの穴4か所を合わせて重ね合わせます。フードフレームのマジックテープ付きの面が前側(タブレットサイド)になるようにします。

次に重ね合わせた上からカーボンロッド(長・アイテム B)のネジ穴を、アイテム D のボルトに合わせ、締めつけることで全体を固定します。

※ご使用になるカメラレンズの高さに合わせてロッドの固定位置を変更してください。

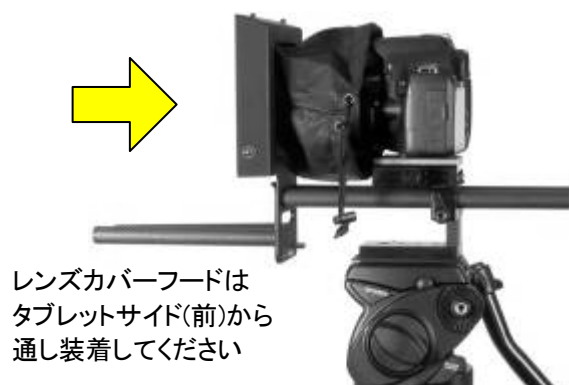


【ステップ 10】

三脚に取り付けたカメラブロックにステップ 9 で組み立てた物を取り付けます。

※カメラサイドのカーボンロッド(長)をパーツⅡの穴に通します。

※高さが合わない場合はアイテム D のボルト位置を変更してください。



【ステップ 11】

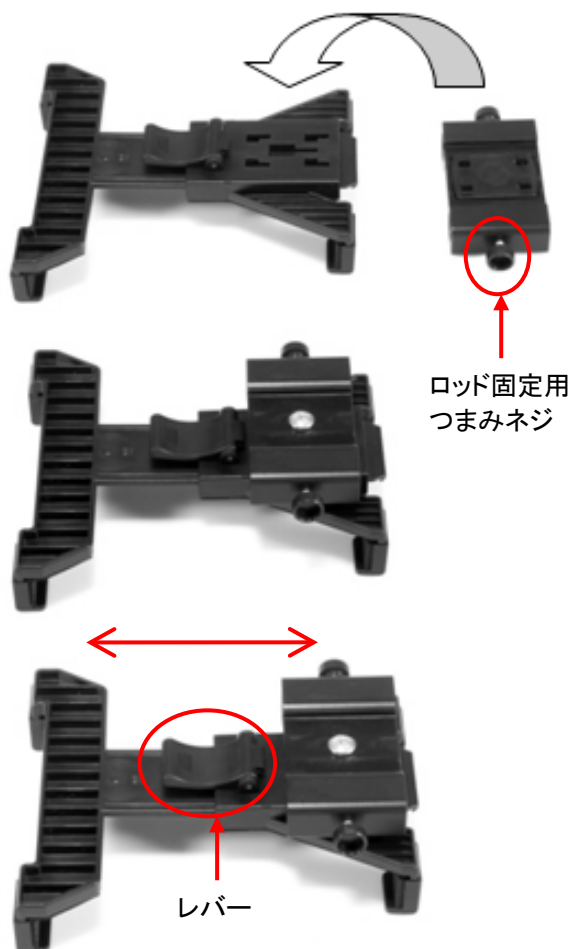
レンズカバーフード(アイテム G)をフードフレームの中へ通し、貼り付けたマジックテープと合わせ固定します。

次に光を遮断する為にレンズカバーフードでカメラレンズを覆い、留めひもで締めつけます。

※留めひもはレンズの微調整が出来る程度に軽く締めます。



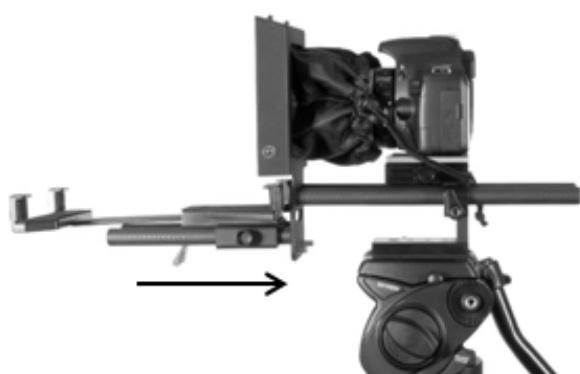
ロッドとカメラの位置をある程度の位置で仮止めしておきます。



【ステップ 12】

タブレットホルダー(アイテム H)裏側のネジ穴に、タブレットホルダー取付プレート(アイテム F)のネジ穴を合わせ、固定ネジ(アイテム M)で締めつけて固定します。

次にタブレットホルダー取付プレートのレバーロックを解除し、プレートをスライドさせて最大幅まで広げます。



【ステップ 13】

タブレットホルダー取付プレートの穴にカーボンロッド(短)を通し、タブレットホルダーを奥までスライドさせます。

次にタブレットホルダー取付プレートのロッド固定用つまみネジを締めて固定します。



【ステップ 14】

折りたたみ式プロンプターフード(アイテム I)をフードフレームに取り付けます。4箇所のボタンに合わせて固定します。



【ステップ 15】

60/40 ガラス(アイテム J)の上端布部をプロンプターフードの上側に付いているマジックテープに押し当てて接着します。ガラスの下端部はアイテム D のテーパーの上にのせるようにして取り付けます。(ガラスは長い辺が上、短い辺が下になります。)

※ガラス両面の角にそれぞれ赤と緑の丸いシールがあります。赤側をカメラレンズ側に向け、緑側の面にタブレット原稿を映し出す様になっています。

ここで、お手持ちのタブレットの電源をオンにして、あらかじめ dv prompter app をインストールし、アプリを起動しておいて下さい。(詳しくは P10 を参照してください)



【ステップ 16】

設定済みのタブレットをタブレットホルダーに取り付け、ホルダーの位置をタブレットのサイズに合わせて調節します。

次に、タブレットホルダーの裏面にあるレバーでロックします。確実に固定されていることを確認してください。

また、原稿が表示される向きに気を付けてタブレットを取り付けてください。



【ステップ 17】

フードフレームの位置を微調整し、アイテム A パーツⅡのつまみを締めて、カーボンロッド(長)を固定します。

(補足 1) リモコンの操作は付属するリモコンタイプに合わせた設定を選択してください。
(詳しくは P13 を参照してください)

(補足 2) 必要に応じてプロンプターの設定や、カメラの露光時間を調節してください。

カメラの露出と 60/40 ガラス

カメラを組立てた後、レンズの前の 60/40 ガラスを付けたまま、カメラの設定やホワイト・バランスを調整します。60/40 ガラスには、ND(減光)フィルターのようにカメラの露出を約 1 目盛り変えたような効果があります。カメラの露出やホワイト・バランスの設定については、ご使用になるカメラの取扱説明書をご覧ください。

App StoreSMからアプリケーションソフトウェアをダウンロードする

dv Prompter を下記のどちらかの方法でダウンロードしてください。※無料でダウンロードできます。

- PC でダウンロードしたものを iPad®に同期する。
- iPad®に直接ダウンロードする。
※インターネット、または、ワイヤレス通信に接続していることを確認してください。

<iPad®に直接ダウンロードする場合>



ソフトウェアをダウンロードするときは、ホームスクリーンの **App StoreSMアイコン** をタップしてください。iPad®用のソフトウェアをストアで **ブラウズ**するか、もしくは、スクリーン上部、または、下部の検索バーをタップし、**Datavideo**、または、**dv Prompter**と入力してください。検索アイコンを右にタップすると、検索が実行されます。検索結果のリストにソフトウェアが表示されるので、**フリー アイコン**をタップし、**インストール**します。



インストールされているソフトウェアのアップデートが有効になると App StoreSMアイコンの表示が変わります。タップするとソフトウェアのアップデートが実行され、**dv Prompter** のようなお気に入りのソフトウェアは常に最新バージョンに更新されます。

Google Play Store からアプリケーションソフトウェアをダウンロードする

dv Prompter を下記の方法でダウンロードしてください。※無料でダウンロードできます。

- タブレットに直接ダウンロードする。
※インターネット、または、ワイヤレス通信に接続していることを確認してください。



ソフトウェアをダウンロードするときは、ホームスクリーンの **Google Play ストアTMアイコン** をタップしてください。AndroidTM用のアプリをストアで **ブラウズ**するか、もしくは、スクリーン上部、または、下部の検索バーをタップし、**Datavideo**、または、**dv Prompter**と入力してください。検索アイコンを右にタップすると、検索が実行されます。検索結果のリストにソフトウェアが表示されるので、**フリー アイコン**をタップし、**インストール**します。

※現在 Windows タブレット/スマートフォン向けのアプリはありません。

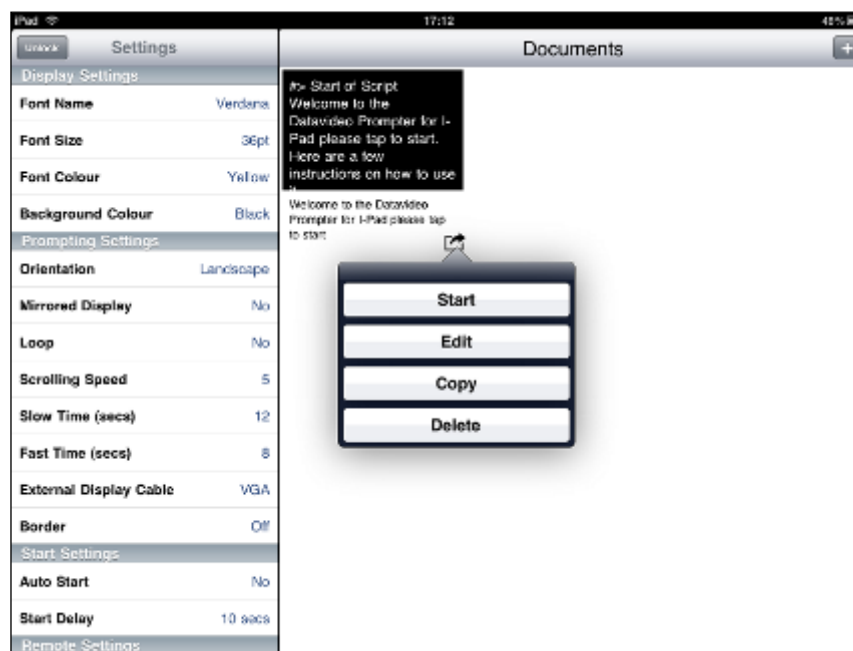
タブレット機器設定

1. タブレットで長時間操作をしないときは、原稿のスクロール等が途中で中断しないように、オートロック/オートスリープの機能を OFF にしてください。
2. 1 項と同じようにご使用を始める前に携帯電話、SMS、アラーム、および E メール機能も OFF にしてご使用いただくことをお勧めします。

※ご使用時にはタブレットのバッテリーが十分充電されているかをご確認いただき、充電が少ないようでしたら事前に充電をして下さい。

※アンドロイドの場合、端末が HID ドライバーか Bluetooth キーボードに対応しているか確認してください。また、ワイヤードモードを使用する場合、ジャックソケットが Microphone 入力に対応しているか確認してください。

アプリケーションソフト dv Prompter の設定



■ディスプレイの設定 (Display Settings)

フォント、フォントサイズ、フォントの色、背景色を設定することができます。

初期設定はフォントの色：白、フォント：Arial、フォントサイズ：36pt、背景色：黒になっています。

Font Name 8 種類のフォントから選択できます。(日本語は 1 種類・Arial のみ対応)

Font Size iPad®: 10 サイズから選択できます。(9pt～54pt)

Android™: 24 サイズから選択できます。(9pt～122pt)

Font Colour / 7 色(黒、白、赤、黄、青、緑、オレンジ)から選択できます。

Background Colour 注意: 文字は全て選択した色で表示されます。一部の文字を別の色に変えることはできません。

フォントとサイズを変えながら、カメラやプロンプターから離れた場所で快適に読めるかどうか試す必要があります。

注意: リモコンのケーブルの長さは 3m 及び Bluetooth™ワイヤレスリモコンの動作距離は約 3m です。

iPad®, Android™タブレットの可読範囲は 3m です。

■プロンプターの設定 (Prompting Settings)

Orientation 表示する画面の方向の設定をします。

Portrait: 縦 / Landscape: 横

Mirrored Display 表示形式を設定します。

Yes: 文字をガラスに映し、反転させて使用

No: ガラスに映さずに普通のディスプレイとして使用

Loop スクロールタイプを設定します。

Yes: 繰り返しスクロール / No: 1 回のみスクロール

Scrolling Speed 文字のスクロール速度を 10 段階で設定します。(1 遅い → 10 早い)

はじめはスクロール速度を 5 がおすすめです。

リモコンを使って速度を調整することが出来ます。

Slow Time / Fast Time	Scrolling Speed で設定した速度の微調整に使用します。 リモコンを使用する場合は、SPEED ボタン及びスクロール加速/減速ボタンを使用します。 <i>例)カメラ前で原稿 1 ページ分を 5～8 秒で読む人の場合は、Slow Time・8 秒、Fast Time・5 秒に設定します。スクロールの最中に SPEED ボタンを押すと、1 段階ずつ速度が変わります。</i>
External Display Cable	VGA やコンポジット信号に対応した外部のモニターに接続します。 (専用ケーブルが必要です。すべての機器で利用できるわけではありません) ※Android™のアプリにはこのメニューはありません。
Border	表示画面の外枠範囲を 4 段階 (Small、Medium、Large、OFF) で指定できます。 ※Android™のアプリにはこのメニューはありません。
Justification	文字列の配置を設定します。 Left 左添え / Center 中央添え / Right 右添え

■スクロール開始時間設定 (Start Settings)

Auto Start	スクロールスタートの自動・手動を選択します。 Yes: 自動 / No: 手動
Start Delay	Auto Start で「Yes: 自動」を選択した場合、遅延させる秒数を 0～10 秒の間で設定できます。

■リモコンの設定 (Remote Settings)

Break Marker	あらかじめ登録したマーク (初期設定は *#) を原稿内に付けておくと、付けた箇所へ瞬時に移動できます。 ※リモコン使用時のみ有効。
Remote Type	使用するリモコンの種類 (None、Wired、Wired-WR-150、Wireless、Bluetooth、Bluetooth -WR-450) を選択します。 ※Wireless は使用できません。

■ビルドバージョン

使用中のソフトウェアのバージョンを確認できます。

タブレットの設定

プロンプターとして使用する前にタブレットの自動ロック機能の設定を必ず「しない」にしてください。
また、バッテリーが十分に充電されていることを確認してください。

原稿を入力する

dv Prompter に原稿を入力します。

- ① タブレットにメールで送る。
メールで送られてきた文章を Edit Document にコピー & ペーストします。
- ② Edit Document を使用して直接入力します。
- ③ PC で作成した原稿 (テキストファイル) を iTunes® 経由で同期します。

<iTunes 経由で同期する場合>

1. iTunes®を開き、デバイスを選択します。
2. 「App」をクリックし、ファイル共有画面で「dv Prompter」を選択します。
3. 転送したいテキストファイルを選択します。
4. iPad®と PC を接続し、同期ボタンをクリックし、転送します。

注意: テキストファイルは必ず「文字コード: UTF-8」で保存してください。その他のエンコードでは正しく転送されません。

リモコンの操作方法

TP-500 キットのタブレット用のリモコンは下記の物が同梱されています。

『WR-450』Bluetooth™ワイヤレス・ワイヤード兼用リモコン(iPad®、Android™タブレット共用)
充電用 USB ケーブル、ワイヤード用ケーブル 3m 1 式

※) 本体を分解・改造はしないでください。保証の対象外となります。

『WR-450』Bluetooth™ワイヤレス・ワイヤード兼用リモコンを使用する

接続と操作



- ① 充電及び操作用ソケット(Micro B USB)
- ② 充電及び表示用 LED ライト
- ③ 首掛け用ストラップ 取付ソケット



スクロール 加速 : 文字のスクロール速度が加速します。



スクロール 減速 : 文字のスクロール速度が減速します。

※リモコンを使用するときのスクロール速度は 5 が最適です。



ブレークマーカー 前方 : スクロールを停止させた後、原稿の前方へジャンプさせるときに使用します。



ブレークマーカー 後方 : スクロールを停止させた後、原稿の後方へジャンプさせるときに使用します。

※ブレークマーカーを使用する場合、あらかじめ、設定しておいた Break Markers を原稿に付けておく必要があります。



再生 / 一時停止 : スクロールの開始/一時停止をします。もう一度スクロールさせるには再度、このボタンを押してください。



首掛け用ストラップを(3)に取り付けた様子

ご使用前の充電

本体には充電式バッテリーが内蔵されています。充電用 USB ケーブル(USB A—Micro B USB)を使い、本体を PC と接続して充電してください。

PC とつないだ場合、本体の充電所要時間は約2時間です。充電中は赤の LED が点灯し、充電が完了すると消灯します。 また、5V のスマートフォン用充電器を代わりに使用することができます。

※電源は本体が 60 分無操作状態が続くと自動的に切れます。

『WR-450』 ワイヤードモード(有線)で使用

まず始めに本体が完全に充電されていることを確認してください。

始めに本体はワイヤードモードに設定されています。必要に応じてワイヤレスモードに切り替えることが可能です。
本体を備え付きのワイヤードモード(有線)用 USB ケーブルでスマートフォンまたはタブレットに接続する必要があります。

ジャックプラグコネクタはタブレット端末のミニジャックソケットに適合します。
Micro B USB コネクタを本体の①に差し込みます。

※)ワイヤードモードで使用する場合は、dv Prompter アプリも Remote type で“Wired-WR-150”に設定してください。

ワイヤレスモードからワイヤードモードに戻す場合、本体を端末等の電源装置と接続してください。
赤の LED が点灯すると、自動的にワイヤードモードに切り替わります



『WR-450』 ワイヤレスモード(Bluetooth™)で使用 — タブレットとのペアリング

まず始めに本体が完全に充電されていることを確認してください。

ワイヤレスモードに切り替えるには、再生/一時停止ボタンを8秒間長押ししてください。

緑のランプが 6 秒間点灯し、その後消灯します。

緑のランプが消灯したら、再生/一時停止ボタンを離してください。

緑のランプが繰り返し点滅したら、新しい端末とペアリング準備が完了します。

タブレット端末の Bluetooth をオンにすると、Bluetooth で近くの端末を探します。**WR-450T** を選択しペアリングをしてください。

※)ワイヤレスモードで使用する場合は、dv Prompter アプリも Remote type で“Bluetooth -WR-450”に設定してください。



補足 『WR-150』 ワイヤード専用リモコンを使用 (TP-500-WRC の場合)

まず始めに本体が完全に充電されていることを確認してください。

有線のジャックプラグコネクタをタブレットのミニジャックソケットに接続すればそのままご利用いただけます。

※)dv Prompter アプリは Remote type で“Wired-WR-150”に設定してください。

尚、操作方法(ボタンの使い方)は『WR-450』と同じです。



60/40 ガラスを清掃する



本製品には、60/40 ガラスが 1 枚含まれています。注意してお取扱ください。

輸送や開梱、清掃、製品に 60/40 ガラスを組立てたり、分解したりするときには、破損する危険を回避するために、本取扱説明書にしたがって注意して扱ってください。

ほこりや指紋を取除くために、定期的にガラスを清掃することをお奨めします。清掃することによってガラス越しに撮影したものをきれいに録画することができます。

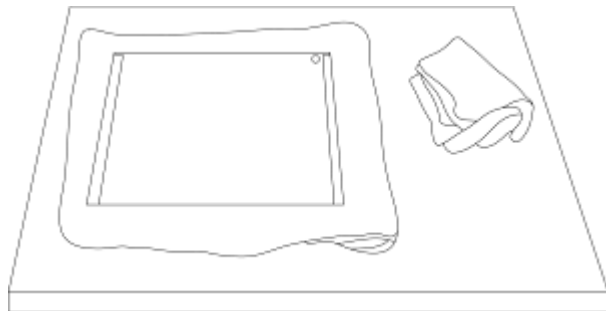
プロンプターフードに取付けた状態で、ガラスを清掃することは、絶対におやめください。

マジックテープをプラスチックカード(アイテム L・ガラス取り外し用)を使って、フードからガラスを慎重に取外してください。ガラスを清掃した後、再度、プロンプターフードに取付けてください。ガラスは常に、布で覆われた端を持って慎重に取扱ってください。

ガラスの品質を維持し、清掃時に傷を付けないようにするためには、

- 研磨布やパッドを**決して使用しないでください**。また、研磨剤入りの液体をガラスの上に**決して零さないでください**。
- 清掃には、酸性、また酢を含んだ液体を**決して使用しないでください**。

柔らかく、安定し、表面に汚れがなく、けばだっていない表面、つまりテーブルにきれいな布を置いたようなところにガラスを載せます。それから、汚れがなく、けばだっていない、柔らかな布でガラスを清掃します。



クリーニング液を直接ガラスに付けないでください。

代わりに布に少量のクリーニング液を含ませるか吹きかけてください。

ガラスの清掃は円を描くようにして軽く布でガラスを拭きます。指紋や汚れが完全に取れたことを確認してから、ガラスを裏返し同じ作業を繰り返します。

清掃が完了したら、プロンプターフードにガラスを取付けます。取付けるときには、布で覆われた端以外は、決して持たないようにしてください。**ガラスの緑色のシールがタブレット側に、反対に赤色のシールはレンズ側に向いていることを確認してください。**

必要に応じて、カメラフードを取付けなおすか、固定しなおしてください。

仕様

型番	TP-500-BRC
可読範囲	3m
リモコン	『WR-450』 Bluetooth™ワイヤレス・ワイヤード兼用リモコン (iPad®, Android™タブレット共用/ワイヤード用ケーブル 3m 付き)
寸法 / 質量	プロンプターキット(組み立て後) : 270mm(幅) × 210mm(高さ) × 460mm(奥行) / 約 1.38kg タブレットホルダー 調節可能範囲 : 105~198mm (タブレットが収まる幅) ※HC-500 専用キャリングケース(付属品)の仕様につきましては P3 をご参照ください。

※仕様は、予告なしに変わることがあります

datavideo は、Datavideo Technologies Co., Ltd の登録商標です。
日本語訳・制作 株式会社エム・アンド・アイ ネットワーク

2015.02.18